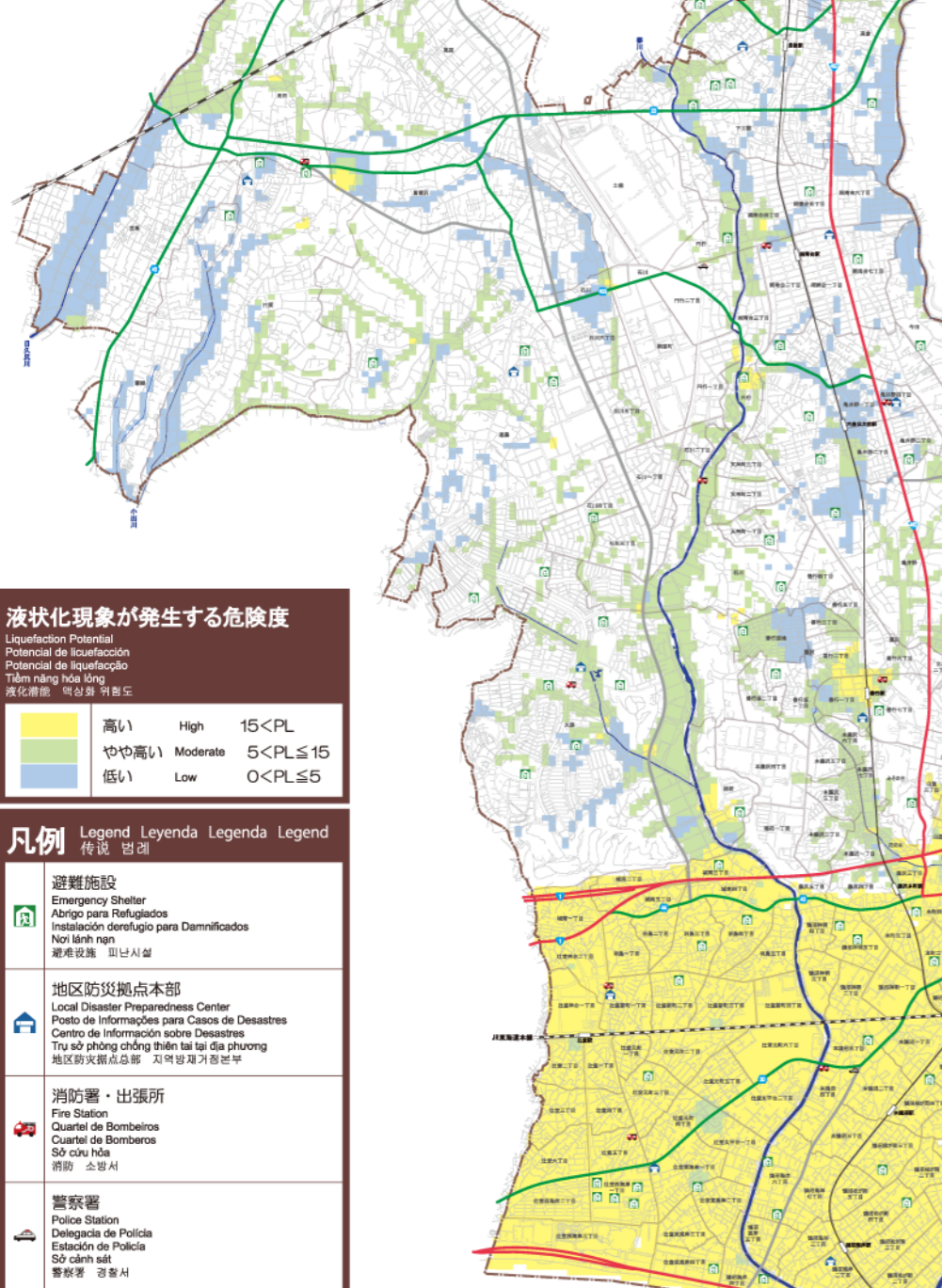


1:30,000
0 1 2 4 km



液状化現象が発生する危険度

Liquefaction Potential
Potencial de licuefacción
Potencial de liquefação
Tiềm năng hóa lỏng
液状化潜度 ภัยพิบัติ

高い High	15 < PL
やや高い Moderate	5 < PL ≤ 15
低い Low	0 < PL ≤ 5

凡例 Legend

避難施設 Emergency Shelter
Abrijo para Refugiados
Instalação de refugio para Casos de Desastres
Nơi lánh nạn
避難施設 避難所

地区防災拠点本部 Local Disaster Preparedness Center
Posto de Informações para Casos de Desastres
Centro de Informação sobre Desastres
Trụ sở phòng chống thiên tai địa phương
地区防災拠点本部 지역防災情報本部

消防署・出張所 Fire Station
Quartel de Bombeiros
Quartel de Bombeiros
Sở cứu hỏa
消防 소방서

警察署 Police Station
Delegacia de Polícia
Estación de Policía
Sở cảnh sát
警察署 경찰서

町丁目界 City Neighborhood Boundary
Limite de Bairros
Limite de Bairro
Ranh giới thành phố
市区街界線 경계구역계 (리 번지선)

国道 National Road Carretera Nacional
Estrada Nacional Đường quốc gia
国道 国道

県道 Prefectural Road Carretera Prefectural
Estrada Prefectural Prefectual đường
県道 県道

その他の主要道路 Major Road Las Principales Carreteras
Estrada Principal đường chính
主要道路 主要 도로

液状化危険度マップ

Liquefaction Potential Map
Mapa de áreas de Licuación de Suelos
Mapa de Risco de Liquefação dos Solos
Bản đồ khu vực dễ lún ngập
液化地图
액화 지도

液状化危険度マップとは

南関東地震が発生したときに液状化現象が発生する可能性(液状化危険度)を、PL値を指標として50mメッシュ単位で示したものです。液状化危険度は、地形・地質条件、地下水位の条件、地震の揺れの強さから求められ、PL値が15を超えると、「液状化危険度が高い」に分類されます。

この液状化危険度マップでは、想定される揺れが強いこと、液状化現象が発生しやすくなるように地下水位などの条件を設定したため、「液状化危険度が高い」地域が広く分布します。

しかし実際の地震時には、局所的な地形・地質条件、地下水位の条件、揺れの強さの違いにより、液状化現象の起こりやすさが変化することがあります。

【液状化危険度の評価】
国土院発行の土地条件図に基づく微地形区分と、藤沢市所有のボーリング資料を参考にしました。



液状化現象の起こり方

地震前
砂の粒子が密に接触しているため、安定している状態です。

地震時
揺れによって砂の粒子がバラバラになり、水に浮いた状態になります。

地震後
バラバラになった砂の粒子が沈むため、地面には水が出てきたり、目から砂まじりの泥水が噴き出します。

想定地震の説明

南関東地震(マグニチュード7.9)
南関東地震は、フィリピン海プレート沈み込みに伴って発生する海溝型の大規模地震で、1923年(大正12年)に発生した関東大震災の再来を想定したものです。



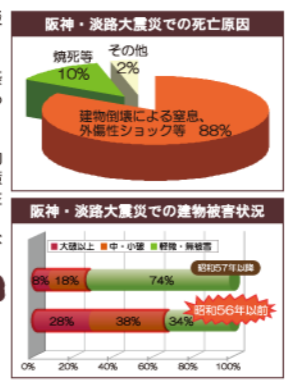
地震発生前の行動

耐震化の重要性

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、死者の約9割が、**建物被害**もしくは**家具の転倒**による死でした。特に、旧耐震基準の昭和56年5月以前に建築された住宅では、大きな被害が発生する傾向にあります。

しかし、**住まいを耐震化**しておけば、建物の被害、ひいては人的被害を効果的に減らすことができます。地震防災対策において最も効果的なことは、事前に住まいの耐震化をしっかりと実施しておき、大地震が来ても、致命的な被害を受けないようにしておくことです。

日ごろから気をつけることが被害防止につながります。あなたの家の安全対策は、大丈夫ですか？



もしもに備え、住まいの地震対策をしておきましょう

耐震診断・耐震改修工事について

藤沢市では、建築物の耐震化を進めることにより、地震の際の安全性を確保するため、次の制度を設けています。大規模地震はいつ起こるかわかりません。耐震診断・耐震改修工事をお考えの方はぜひこちらの制度をご利用ください。

補助内容・耐震相談は、建築指導課までお問い合わせください。
藤沢市・建築指導課
0466-25-1111

- #### 木造住宅耐震診断補助
- 所定の要件を満たす木造住宅を所有し居住している方に対して、耐震診断に要する費用の一部を補助します。
- #### 木造住宅耐震改修工事補助
- 所定の要件を満たす木造住宅を所有し居住している方に対して、耐震改修工事に要する費用(耐震補強設計費・工事監理費・耐震改修工事費)の一部を補助します。
- #### 分譲マンション耐震診断支援補助
- 所定の要件を満たす分譲マンションの管理組合に対して、耐震診断の予備診断又は本診断に要する費用の一部を補助します。

家族で備える安全対策

照明器具 ● 鏡と金具を使って、落下防止止めましょう。 ● 蛍光灯は蛍光灯の両端を前後テープで止めておきましょう。	食器棚 ● L字金具などで固定し、棚板にはすべりにくい材質シートやふしなどを敷きましょう。 ● 扉を開ける際の食器棚等には開閉防止金具を取り付けましょう。	タンス ● 家具は転倒防止のため、L字金具で壁に固定する。天井との間に 突っ張り棒 を入れて固定しましょう。	テレビ ● 家具の上などは避け、できるだけ低い位置に固定して置きましょう。 ● 上に水槽などを置く、揺れで落下し、割れる危険もあるので気をつけましょう。	本棚 ● 本は重いものを下に、軽いものを上に置きましょう。	冷蔵庫 ● 扉と扉の間に金具などを巻いたり、裏側にある取手(手カク)に固定用ベルトを通して、 壁に固定 しておきましょう。	ガラス ● 戸棚のガラスや窓ガラスには、 飛散防止フィルム を貼りましょう。 ● できるだけ耐震自動消火装置付きのものを使うようにしましょう。	ストーブ ● ストーブの周りには燃えやすいものは置かないよう注意しましょう。 ● できるだけ耐震自動消火装置付きのものを使うようにしましょう。
--	--	---	---	---	--	---	--

家具の転倒防止対策について

家具の転倒防止については、自ら対策をとることが必要ですが、固定することが難しい方がおられるので、藤沢市では、家具の転倒防止器具の取付け工事を行う協定業者を紹介しています。

取付け工事を行う際には、協定業者とご相談してください。
※転倒防止器具の費用が別途発生いたしますのでご了承ください。

取付け工事費用
家具等1台につき**2,000円**
(事前調査費用・出張料等を含む
(1台増えるごとに900円の追加料金がかかります))

藤沢市・災害対策課
0466-25-1111

非常持ち出し品・非常用備蓄品

いざというときに持ち出す必要最小限のものが「非常用持ち出し品」で、救護物資が届くまでの数日間(最低3日分)自分の力で過ごせるように準備しておくのが「非常用備蓄品」です。日ごろから家族で話し合う機会を持ち、準備しておきましょう。

重量は成人で5~10kg程度が目安です。

食料品	飲料品	医薬品	衣類	衛生用品
● 缶詰 ● 乾パン ● チョコレート	● 飲料水 ● 缶詰 ● 乾パン ● チョコレート	● 救急セット ● 絆創膏 ● 消毒薬 ● 応急処置薬 ● 救急箱	● 上着 ● タオル ● 下着 ● ハンカチ ● 靴下 ● 防災頭巾	● 簡易トイレ ● 携帯用トイレットペーパー ● レジューシート ● ビニールレインコート ● ティッシュペーパー ● 生理用品 ● 携帯ラジオ ● 携帯充電器 ● ゴミ袋・ビニール袋



地震発生後の行動

自分の身を守る

激しい揺れは、すぐにおさまります。倒れてくるものから、身を守って下さい。揺れによって入口がゆがんで、ドアや窓が開かなくなっている事が考えられます。割れたガラスなどに注意し、厚手のスリッパやスニーカーを履きましょう。

災害時要援護者を安全に誘導するポイント

突然の災害に見舞われたとき、大きな被害を受けやすいのは、高齢者や子ども・障がい者・傷病者・外国人などならかならず必要となる「災害時要援護者」です。日ごろからこうした災害時要援護の立場に立つたまちづくりを進め、災害時には地域ぐるみで支援しましょう。

家族・隣近所の安否確認

家族が無事か確認しましょう。家族内で事前に集会所や役割分担等の決まり事を作っておきましょう。隣近所にも声をかけて、なるべく一人で行動しないようにしましょう。

隣近所同士の助け合い

隣近所で困っている人がいたら、みんなで声を掛け合い、助け合しましょう。一時避難場所へ向かう準備をしましょう。もしも同時に備えて、3日分の食料・飲料水を準備しておきましょう。

がれきの下敷きになった人を助けるのは1日以内が勝負です!

もしもに備え、登録をしておきましょう

地震後における防災情報サービス

災害用伝言ダイヤル171ご利用方法

伝言の録音方法
171にダイヤル
録音「1」をダイヤル
※電話番号(市外局番から)
伝言が録音される

伝言の再生方法
171にダイヤル
再生「2」をダイヤル
※電話番号(市外局番から)
伝言が再生される

被災地の方
自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号

被災地以外の方
連絡を取りたい被災地の方の電話番号

※電話番号には、それぞれ次の番号を市外局番から入力してください。

防災・気象情報メールのご案内

藤沢市の「ふじさわメールマガジン」の配信サービスをご存知ですか?
この配信サービスの中には「防災・気象情報メール」があります。

①「mm@fujisawa-mail.jp」または「登録用QRコードより登録メール(件名、本文を入力しないメール)を送信してください。

② しばらくお待ちいただくと「利用登録開始」のメールが届きます。

③ メール内にあるログインURLを使用してログインしてご利用いただけます。

0180-994-144

● 藤沢市において「震度4」以上の地震が発生したとき
● 津波注意報・津波警報・津波警報が発令されたとき
● 化学スモッグ注意報
● 警察署より行方不明者の捜索等に関する放送の依頼があったときなどの災害情報を放送します。
また、そのほかにも必要に応じて災害に関する放送をいたします。

但し、下記電話からはご利用ができませんのでご注意ください。
● プライベート携帯電話・PHS・050から始まる伊通電話
● NTTの「かり電話」一部のケーブルテレビ電話
また、通話料は利用者の負担となりますのでご了承ください。